

# 楓園

ISSUE  
2019 6/1

88

FÛEN [フウエン]

Toyo Eiwa Jogakuin  
Public Relations Report



[巻頭特集] 大学開学から英和が歩んだ30年

## *Memories of 30 years*

東洋英和女学院  
東洋英和楓の会



# of 30 years

## 大学開学から英和が歩んだ30年

1989年に東洋英和女学院大学が開学してから30年の月日が流れました。  
ICT化や女性の活躍など、世の中が変革を遂げた30年の間に  
東洋英和はどのように変化してきたのでしょうか。



### 女子の一貫教育体制を実現

1986年、男女雇用機会均等法が施行。女性の大学進学や社会進出が急速に進む中、時代の要請に応じて1989年に東洋英和女学院大学が開学。幼稚園から大学までの女子一貫教育体制が整った。キリスト教精神に基づいた人間教育、国際社会に対応できる人材育成によって、幅広い分野で活躍する卒業生を輩出し続けている。

1 開学当時の大学キャンパス。写真は1989年の大学開学時に建設された1号館。2 解体される前のヴォーリス設計による中高校校舎。3 横浜校地に礼拝堂完成（1991年）。4 大学院開設10周年を迎えた2003年9月に完成した本部・大学院棟。旧短期大学講堂（のちの中高校第二講堂）解体後、建設された。

2	1
4	3

### 聖書の言葉

あなたは初めのころの愛から離れてしまった。  
だから、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて初めのころの行いに立ち戻れ。

ヨハネの黙示録 2章4-5節

これは激しくキリスト教会を迫害した皇帝の時代、自身もその中にあったヨハネがエフェソにある教会に宛てた手紙の言葉です。教会の歴史は「愛」、勿論、神の愛から始まりました。「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで永遠の命を得るためである」。私たちはこのように愛してくださる神様から離れてしまうことがあります。心に留めておきたい聖句です。

学院宗教部長 伊勢田 奈緒

# Memories



2019年、東洋英和女学院は創立135周年  
東洋英和女学院大学は開学30周年を迎えました。

## よりよい教育環境のために

より快適な学習環境を整備するため、1996年に中高部の校舎とマーガレット・クレイグ記念講堂、2000年に小学部の校舎を改築。中高部、小学部の新校舎ともに、時代に即した情報教育を行うためのコンピューター教室が新設された。ただし、最新の設備を取り入れながらも、旧校舎から受け継いでいきたいものは残された。



## 広がる東洋英和の精神

女性の社会進出に伴い、男性の子育てに対する意識も変化。小学部で「父の会」、中高部で「父親有志の会」が誕生、学校行事などのサポートを行っている。また村岡花子をモデルとした『花子とアン』の放送や、卒業生とその家族、関係者をつなげる「東洋英和楓の会」の発足により、英和の精神は広く知られるところとなった。

9	6	5
10	8	7

5 東洋英和幼稚園の女児3年保育開始に伴い増築された園舎(2014年竣工)。6 2010年に植えられたかえで幼稚園の芝。7 今に受け継がれる中高部旧校舎の正面玄関扉。8 建設中の小学部校舎(2000年竣工)。9 2002年小学部父の会発足。運動会をサポートするお父様方。10 学院創立130周年事業としてオープンした村岡花子文庫展示コーナー。

## Contents

【巻頭特集】 大学開学から英和が歩んだ30年

P.01 *Memories of 30 years*

From the Garden of Kaede

P.09 楓の園から [学院 NEWS]

P.15 *Cartmell's Prayer* [宗教教育委員会]

P.17 教員紹介

P.19 学院人事

P.21 東洋英和楓の会

# 大学開学から30年「一期生の今」

東洋英和女学院大学の開学から30年という年月は、  
女性の働き方や生き方にも大きな変化をもたらしました。  
大学での学びを糧に、社会で自らの道を切り拓いてきた一期生の今に迫ります。



アメリカン・エクスプレス・  
インターナショナル, Inc. 勤務  
**横山(市川)由美子さん**

大学一期生。1993年3月人文学部社会科学科卒業。日本長期信用銀行を退行後、キャセイバシフィック航空等外資系企業を経てコロンビア大学大学院で修士課程修了。帰国後、現在の会社に入社。2019年2月よりトラベル・ライフスタイル事業部門本部長を務める。



(左) 4年次に完成した5号館の前で。一番左が本人 (右) 開学後初めての卒業式

## 外資系企業から女性の新しい働き方を発信したい

### 現

在、アメリカン・エキスプレス(以下アメックス)のカード会員様向けに、旅行の手配やさまざまなライフスタイルをサポートする部署で、数百名のスタッフを統括しています。お客様の希望に添った提案ができるコンサルタントを育てるのが私の仕事です。

東洋英和女学院大学を卒業してから銀行、航空会社、格付会社、ファイナンシャルやリーガル情報サービスの会社を経て現職へ。一見つながりがないようにも見えますが、最初の銀行以外はすべて外資系で、一貫して日本と海外をつなぎ、グローバルな視点でローカルなサービスを提供する点において共通しています。

最初は語学力を試したいという一念で、銀行から航空会社にCAとして転職し、香港に移住しました。この時、10カ国から成るクルーの中で、ダイバーシティの醍醐味を体感しながら国際的な視点を身につけることができました。

結婚を機に帰国し、外資系企業でキャリアを積んだ後、夫と共に渡米、同じ大学院でファイナンスやマーケティングを学びました。留学は専門性を磨くだけでなく、多様な人々の中で学ぶことで自分の特性を知るきっかけにもなります。たとえば私は、授業でのグループワークを通じて、

スケジューリングから課題の分担まで積極的に計画し、多彩なバックグラウンドの学生をとりまとめ、自分にナシヨナリティーを超えて人をまとめるスキルがあることに気づきました。帰国してアメックスに入社してからは、その特性を意識して働けるようになりました。

ただし、その環境を一定の周期で変えていくことも私の働くスタイルです。現部署には最近、自ら手を挙げて異動しました。一人の人間が特徴的な変革を行えるのは3年が最適と考え、自分の持っているものを3年間で出し切り、次の仕事に挑戦するよう心がけているからです。

思えば30年間、チャレンジングな生き方をしてきました。それは、女子だけで主体的に動ける英和に、一期生として入学した時から始まっています。かえりて祭実行委員会の副委員長として、学園祭を一から作り上げた体験も貴重でしたが、所属した三橋利光先生のゼミでは、少数数の中、自分で考え行動することが常に課されました。アカデミックな学びだけでなく、国際社会でリアルに起きていることを知ることができたのも当時の社会科学科の特徴で、第一線で活躍する海外の方を招いての講演会が印象に残っています。

講演会で、三橋先生が積極的に英

語で質問される姿が今も目に焼きついていてます。当時の私は、自分が英語で質疑応答ができるなど思ってもいませんでしたが、今は英語での会議でも恥ずかしくがらずに積極的に発言できるようになりました。先生の背中を見て、自分の意見や疑問はその場で伝えるべきだと胸に刻まれたからでしょう。

私は現在、子育てをしながら働いています。私が大学を卒業した頃は多くの女性が結婚を機に家庭に入るとして働け続けることは自然なことでした。今は在宅勤務制度を利用し、週一回、家で企画を考える時間に充てています。ワークライフバランスを考えた働き方を実践し、こんなカジュアルな働き方でもマネジメントができるんだと、チームのモチベーションをあげるのも私の役割だと考えているからです。

仕事以外にも、米国での大学院時代の友人から依頼され、企業から見た日本の女性の働き方に関する論文を執筆し、女性の働き方について追究しているところです。これからも人をマネージングする経験を活かしながらは日本全体を改善するような女性の働き方を発信していけたらと考えています。

### Memories of 30 years

## 社会における女性の生き方を考えた30年

### 男

女雇用機会均等法が施行されて間もない1989年に開学した東洋英和女学院大学。そのため、開学当時から全学共通の科目として「女性史・女性論」にはじまり、「女性学」へと、女性の生き方や価値観を考察するカリキュラムに注力してきた。そして2019年度より、さらに時代に合わせた形を求め「女性学」は名称を変えて生まれ変わる。



「女性学」の授業風景。女性の生き方だけでなく、男性の生き方やその関係性も学ぶ。

### 「女性学」から「ライフデザイン」へ

開学以来、女性を取り巻く諸問題に目をむけ、学生の自己実現のサポートを行ってきた「女性学」と、より具体的に進路について考えることを目的に2010年度に始まった「キャリア設計」。これら両科目に替わり、2019年度からは、社会の成熟にともなう考え方や生き方の多様性を

包摂し、学生一人ひとりが自身のライフプランを考える科目として「ライフデザイン」科目をスタートさせる。直近の就職活動だけでなく、その先の人生を女性としてどう生きていくのかを長期的な視点で考えるとともに、生活設計のためのヘルスケアや金融の知識も身につける。

# 30歳を迎えた「卒業生の今」

今年、大学と同一年の30歳を迎える卒業生は  
英和を卒業後、どのような人生を送ってきたのでしょうか。  
異なるフィールドで活躍するお二人に話を聞きました。

ヤクルト薬品工業株式会社  
業務部総務課 勤務  
**相良(小澤)美紀さん**

2008年、高等部卒業。埼玉大学理学部  
生体制御学科卒業。現在はヤクルト薬品  
工業株式会社業務部総務課に所属し、  
原料調達、稟議書・契約書の校閲を担当  
するほか、会社の運営を円滑に進めるた  
めのさまざまな業務を行っている。



## 人のために働く喜びを知った英和時代

**大** 講堂に来ると思い出されるのは、毎朝の礼拝での先生方や牧師先生の言葉です。特に「隣人を自分のように愛しなさい」というメッセージは心に深く刻まれており、今日まで自分の軸となってきました。クラブ運営委員会の委員長を務めたとき、他の委員と膝を突き合わせて、各クラブへの予算の振り分けについて悩んだことも思い出深いです。ベストな回答を導き出すのは難しかったですですが、自分たちの答えに皆が納得してくれたときの喜びはひとしおでした。今、会社組織を陰で支える総務の仕事にやりがいを感じているのも、このときの成功体験が少なからず影響していると思います。私は理数系の科目が得意で、なかでも生物が好きだったため、大学では生物学を専攻しました。大学の実験で培ったデータ採取↓分析↓考察↓実証する手法は、過去のデータを分析し、先のトレンドを予測することが求められる原料調達の業務で特に生きています。多くの現代女性と同じように、私も自身も、仕事も家庭も大切にしたいというライフバランスの取れた人生を送りたいと考えています。これからも英和で養った「誰かのために」という言葉を胸に、自分の夢や目標に向かって歩んでいきたいです。

### 個人教材パーソナルコンピューター導入

これからの時代に不可欠なコンピューターの基本操作や、プログラミング的思考、情報モラル・セキュリティなどの能力を養うために、2018年夏、マルチラーニングルーム (MLR) が開設された。また MLR 開設に伴い、高1・2の生徒一人ひとりに教材としてノート型の

パーソナルコンピューター (PC) を配付。PCについて主体的かつ日常的に学べる環境となることで、高度な知識・技術の習得のみならず、生徒間での情報共有、教師と生徒の連携、グループ研究などの協働活動の効率化など、多様な場面での活用が期待されている。



3月上旬に Chromebook (ノートパソコン) が配付された。

## 新たな時代を生き抜くスキル

**高** 等部に必修科目「情報」が登場したのは2003年。オリジナル雑誌やデジタルアルバムなどの作成を通して、情報の収集、発信の仕方や、著作権について学習するとともに、情報を吟味する力や、サイバー犯罪から身を守るための心構えについても習得。コンピューターを理解するだけでなく、人としてのモラルを忘れず、情報の真偽を見極める力を養う目的で授業が行われている。



**PwC Japan 合同会社  
人事部 勤務  
飯田 純さん**

1995年、東洋英和幼稚園卒業。立教大学卒業後、ウエディング関連企業で人事、新規事業、製造の業務に携わる。2015年3月、立教大学ビジネスデザイン研究科でMBA取得。2017年11月より、PwC Japan 合同会社で新卒採用に従事。

## 自由な環境のなかで養ったグローバルな視点

**自** 然豊かな園庭を泥だらけにな

って走り回った日々のごときは、今でも鮮明に覚えています。先生方は子どもの意思を尊重し、あたたかく見守ってくださったので、自由のびのびと遊ぶことができました。

ただし自由には責任が伴うことで、自分の頭で考えて行動しなければなりません。誰と何をして遊ぶのか、どうしたらやりたいことができるのか。子どもながらに必死に考えることで、思考力や発想力が鍛えられたように思います。また礼拝や節目ごとのキリスト教の行事を通して、日常の当たり前のことに感謝する気持ちや、人はみな平等であり、またお互い異なる個性を持つ人間であるというグローバルな視点を養うことができました。東洋英和の教えは、生きていく上での大きな指標になっていると感じます。

今後もグローバル化が進めば、これまで以上に多文化、多様な人材を受け入れ、互いの個性を認められる日本社会にしていかなければなりません。そのためには既存のルールや価値観に縛られず、ときには海外へ飛び出し、視野を広げていく姿勢が必要ではないでしょうか。私自身まだ道半ばですが、みなさんも常に学び、前進し続けることで、自分の正解を探してほしいです。

### Memories of 30 years

## 子どもたちに伝える世界とのつながり

**東** 洋英和の子どもたちは、キリスト教教育の一環として、国際交流活動を行っている。

東洋英和幼稚園では、アジアキリスト教教育基金(AOIF)を通して、バン格拉デシュに寺子屋を作る支援活動に参加。バン格拉デシュの文化への理解を深めている。大学付属かえて幼稚園では、園児たちがクッキーを焼いて販売し、ケニアのスラム街の子どもたちが通う幼稚園へ献金している。



寺子屋を作る活動を進めるミナ・マラカール女史にお花をプレゼントする園児たち。

### Ewha (梨花女子大学附属初等学校) との交流

小学部とEwhaの交流は、東洋英和女学院大学と韓国の梨花女子大学が2000年に姉妹校提携を結んだことを機にスタートしている。児童の英語学習のひとつとして、英語の手紙での交流が続いていたが、2007年にEwhaの児童が初めて来校。2010年には、5年生の有志39

名が小学部史上初の海外学習旅行を敢行。Ewhaへの訪問だけでなく、歴史遺産の見学などを通して、異なる文化を持つ韓国の人々との相互理解を深めている。現在、隔年でホームステイを含む、5年生有志による相互訪問が続いている。

# 新しい時代を、私たちの力で

20年後の未来がどうなっていたらハッピーですか？

この先、より良い社会を作っていくために自分たちにできることを考えてみましょう！



大学付属かえで幼稚園  
男児

宇宙の研究家になり  
たいです。  
宇宙に興味がある  
からです。

人々が他者を思いやる心を持ち、  
また、若い世代が中心となって  
自分のやりたいことを  
実現できるような社会に  
なってほしいと思います。

病気やけがで困っている人を助け、励まし、希望を与えられるような  
医師になることが私の将来の夢であり目標です。



高等部2年  
三武 わこさん

平等で差別がない、教育格差がない、  
子どもを第一に考える社会に  
なってほしい。

将来は、保育者になって、一人ひとりが  
かけがえのない存在として尊重される教育を行いたいです。



大学 人間科学部  
保育子ども学科 4年  
シラカワ アカ ラケル アミさん



東洋英和幼稚園  
女児

どうぶつが好きだから、  
どうぶつのお医者さんに  
なりたいです。

立派な人けん派弁護士になって、  
日本からえん罪をなくし、  
平和な未来をつくりたい！



小学部5年  
坪井 愛実子さん

## 14歳の未来プロジェクト

### 20年後の未来に世界を HAPPYにする新商品を開発!



中学2年生の総合学習で実施された「14歳の未来プロジェクト」。「20年後の未来の世界に役立つ新商品を開発せよ」というミッションのもと、各クラス6～7人のグループに分かれて意見を戦わせ、クラス内で選ばれた1チームが決勝大会に出場した。本プロジェクトのねらいは、プレゼンを形に

していく過程で、自分の考えを効率的かつ正確に伝える方法を模索したり、問題意識を持って自分たちの世代が解決すべき課題を自覚したりすること。グローバル化が進む世の中で、次世代により良い社会を残すために、地球規模で社会問題を解決するヒントを得られた有意義なアクティブ・ラーニングとなった。

## 決勝大会を終えて

(2019年2月7日実施)

各グループが着目した社会問題は異なるが、最先端の科学技術を生かして解決しようとする視点は共通しており、時代の波が感じられた。代表チームをクラス全員で盛り上げ、熱の入ったプレゼンが展開されただけでなく、他のチームのプレゼンに対して積極的に質問を投げかけ、またそれに対して堂々と答える姿が見受けられた。



優勝

中学部2年5組

社会におけるコミュニケーション問題  
解決のための商品「虎子」  
(思考・意志伝達器)



まずは優勝できたことを素直に喜びたいですし、何より5組のみんなにありがとうと伝えたいです。5組の他のチームのプレゼン、また他の組のプレゼンを見て人間が持つ創造力の偉大さに改めて気付くことができました。その創造力を用いていろいろな形で社会に貢献できる、そして現実味のある一つの商品となる事で私たち自身が「ドラえもんポケット」を持っているのだと思いました。

発表の前は、人に伝えることの難しさと自分たちの作り出した商品への責任感で押し潰されそうになりましたが、ここまで一つのモノに情熱を注いだというのは素晴らしい体験となりました。ここで終わりではなく、ここから本物の商品としてどのように発信していくかを考えたいです。(班長 伊藤 華怜)

準優勝 2年2組 高齢化問題を解決するための商品  
「Connect TOWN for future」(未来型高齢者用総合タウン)

熱演 2年1組 少子化問題を解決するための商品  
「運命の赤い糸プロジェクト」  
(DNA型による婚活マッチングシステム)

ユーモア賞 2年3組 環境問題解決のための商品「ポテトカー」  
(エコ新素材セルロースナノファイバー製の自動車)

映像賞 2年4組 ゴミ・資源問題解決のための商品  
「Trusher」(圧縮型ごみ処理機)

# 一人ひとりの 個性を認め合う 世の中になって ほしいと思います。

先入観を捨てて人と関わることを、そしてありのままの自分でいることを心がけていきたいです。



大学 国際社会学部  
国際社会学科2年  
大石 怜奈さん

テニス選手に  
なりたいです。  
なぜなら、  
世界中の人に、  
笑顔をとどけたいからです。



小学部5年  
小泉 柚生さん

お互いの文化、  
価値観を認め合い、  
尊重し合う  
より多様性が認められる  
社会になってほしいです。

自分が知っている範囲の世界だけでなく、さらにその外の世界に関心を持って知ろうとする姿勢が、多様性を認めることにつながっていくのだと思います。



高等部3年  
吉田 円香さん

# From the Garden of Kaede



チャイムが鳴ると、校庭は子どもたちでいっぱいになります。  
「お姉さんたち、どこかな。今日は何をして一緒に遊ぼうかな」  
子どもたちの笑顔、響く笑い声。小学部は今日も元気100%です。

小学部の休み時間  
子どもたちの世界

小学部教諭 谷口こゆき

**小** 学部では週番という仕事が年に数回あります。昼休みに校内を巡回すると、いくつもの「ふん…、そうなんだ…」の場面に遭遇します。例えば、普段は物静かなのに、甘える下級生たちと上手に遊んでいる上級生。体育の授業では元気いっぱいな子が、しつとりとピアノを弾いていたり。

さて、皆さんは小学生の頃、休み時間をどのように過ごしていましたか。私はほとんど外遊びでした。外遊びも学年ごとに若干のはやりがありました。低学年からドッジボール、けん、ドッジボール、大学落とし、馬乗り、ドロケイ、ゴム段、大なわ、円陣パレーと、(懐かしい方々、いませんでしょうか)とにかくよく遊びました。でも帰宅すると、お人形の洋服作り、読書、ピアノ、一人バレーボール特訓など、一人の時間を楽しんでいました。思い返すと、学校の休み時間や放課後は、私が1日を精一杯過ごすためのエネルギー補給であり、自分のバランスを取るための大事な時間、空間、仲間が重要な鍵だったのだと思います。そこで

今回小学部の休み時間(朝休み・20分休み・昼休み・放課後)に、子どもたちがどんなことをしているのか、アンケートを取ってみました。

まず、特筆すべきは、6年生が他学年と全く違う結果となったことです。6年生の活動場所が(外か中か)どの休み時間も有意差をもって「室内での活動」の回答が多く、放課後以外は8割が室内での活動を希望していることがわかりました。室内では、お友だちとの会話(おしゃべり)を筆頭に、カードゲームなどの集団遊びと続き、他学年にない「寝たい」の回答も見られました。

1年生から5年生を見てみると、どの学年も差が出たのは20分休みで、外遊びの回答がおよそ7割でした。昼休みは、1年生の約7割が外遊びと回答し、他の学年は室内での

活動とほとんど差がありませんでした。遊びの内容では鬼ごっこ、ドッジボール、アスレチックの人气が高く、低学年ではその他に鉄棒が人気です。

室内での活動で多いのは読書(4・5年は図書室も)やオルガンですが、1・2年生では折り紙や塗り絵も人気です。これらは、一人での活動として数えましたが、実際に校内を巡回すると、オルガンの周りには賑やかにお友だちが集まり、図書室では数人がかたまつて読書をしていたり、隅でクスクスと楽しそうに過ごしています。1年生の教室も、お友だち同士でお話をしながら、楽しそうに折り紙や塗り絵をしています。つまり、活動自体は一人での活動でも、実際には空間や活動を共有している、集団での活動と捉えてもよさそうです。そして4年生から学年が上がるにつれ、おしゃべりの回答が増えています。

逆に気になったのは、6年生に顕著に表れた「寝たい」という回答でした。昨年保健委員会で調査した就寝時間の結果を見たところ、各学年の最大値は1年生で8時〜9時、2〜4年生は9時〜10時、5年生は10時〜11時、そして6年生は11時過ぎでした。これでは確かに朝休みに「寝たい」と思うでしょう。宿題をするという回答も見られた高学年ですが、

夜ふかしの理由は一体何なのでしょう。うか。

「子どもの仕事は遊ぶことである」とは、現代では死語に近いのかもしれませんが、学校が終われば、毎日のように習い事や宿題に追われ、心を満足させることを目的とする「遊び」、日常生活から区別された自由な時間は僅かしか残っていません。現代社会の中で子どもたちが確実に遊びを確保できるのは、まさに学校生活の中の休み時間といっても過言ではありません。アンケートを見ると、子どもたちは僅かな時間を無駄にすることなく、自分に合った休み時間の過ごし方をデザインしていました。

気持ちにゆとり(遊びのもう一つの意味)を持って休み時間を最大限に使っている子どもたち。彼らを見守る私たち大人にできることは一体何でしょうか…。



今日はワークスペースで遊ぶのか



泰山木のベンチからみんなの遊びを見るのも楽しいね

## 大学院開設25周年 記念式典開催

1 1993年に開設された東洋英和女学院大学大学院

は、2018年度で25周年を迎えました。開設25年を祝う記念式典が、2019年1月26日（土）、大学院棟で元教職員、修了生111名が出席し開催されました。まず、「大学院開設25周年記念礼拝」が行われ、池田明史学長による式辞、伊勢田奈緒学院宗教部長が祝辞を捧げました。大学院開設当初は人間科学研究科、社会科学研究所として当時としてはまだ珍しかった夜間、土曜日に開講する専門的な学びの場として発足しました。社会科学研究所は、2003年度から国際協力研究科に名称を変更し、よりグローバルに活躍する専



大学院開設25周年記念礼拝

門家の育成に携わってきました。

夜間、土曜日に開講する大学院という特徴から、主に社会人が自らの経験を活かして、あるいは豊かなキャリア形成のためにより専門性を深めてきました。

修士課程修了生はこの24年間で人間科学研究科665名、社会科学研究所・国際協力研究科187名、合わせて852名にのぼります。博士後期課程では、博士号取得者を9名輩出しています。

### 修了生による座談会 「現代社会の生きづらさ」

礼拝後は、両研究科を修了し社会で活躍する修了生による座談会が開かれました。座談会のテーマは「現代社会の生きづらさ」専門家としての実践の立場から」でした。現代社会には、心の問題、生き方の問題、教育の課題、国際的な経済至上主義の中で生み出される格差問題などが散見されますが、これらの問題は両研究科の専門性を活かして分析・対処できる共通のテーマです。

座談会に参加した修了生は、清水めぐみ氏（東北福祉大学総合福祉学部准教授、人間科学研究科臨床心理学領域1998年修了）、鉦田孝之氏（特定非営利活動法人クレインハウス グループホームGHつる理事



(上) 修了生による座談会「現代社会の生きづらさ」  
(下) 座談会登壇者

長、人間科学研究科社会・社会福祉学関連分野2002年修了）、小林由香氏（太陽第二幼稚園教務主任、人間科学研究科幼児教育コース2017年修了）、田中紗和子氏（日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター客員研究員、国際協力研究科2008年修了）で、それぞれの専門性を活かした社会的な活動状況の報告がありました。

清水氏からは、大学で教壇に立つ立場から、複雑化する現代の若者の心理、とりわけ大きな挑戦を考え、規定の路線にいかに対応するかを考えようとする姿勢は、現代社会のありようにも関連しているのではないかと考え日々の対応に取り組んでいるとの説明がありました。鉦田氏からは、地元に着した臨床心理援助の取り組みについて解説し、特に病を持つ人、それを克服しようとして

いる人々への根強い偏見にどう立ち向かうべきなのか社会へ力強く問いかける実践活動が報告されました。幼稚園で教務主任を務める小林氏からは、情報の氾濫が子育てはかくあるべきだとの呪縛、常に評価を期待される保護者の生きづらさを生み出しているとし、幼稚園教諭はより専門性を身につけて保護者の生きづらさを軽減させることが重要であると話されました。田中氏からは、国際社会では新自由主義の下に競争的な市場が尊ばれ、障がいを持つなど特定の人々が排除される傾向があり、アジアや南米を例にして、地域や人々による新しい支え方のシステムの必要性についての指摘がなされました。修了生が取り組むいづれの問題も、現代社会のシステム、人間関係の変化が、自由なものであるはずの人々の生き方に「生きづらさ」を与える



記念パーティー

というもので、両研究科がそれぞれの専門的視点でその改善に取り組むべき課題といえましょう。座談会の後半では、参加者からの積極的な質問も続き、同じ専門家として同窓生同士で課題が共有できることを再確認したのではないのでしょうか。

### 記念パーティー

座談会後は、会場を国際文化会館に移し、記念のパーティーが開かれました。修了生、教職員、退職された先生方など119人が参加し、鮑戸弘・本学名誉学長の乾杯によってパーティーが始まり、修了生が恩師と旧交を温める様子も見られました。25年の間に教育に貢献され、すでに退職された先生方からは短時間な

からご挨拶をいただき、設立時の苦労された思い出、今も続く指導院生とのつながりなどのお話があり、約2時間、交流を深めました。

### 大学院の今後 — 意義を確認して

記念礼拝での式辞において、池田学長は社会人大学院の意義について、概ね次のように述べました。社会が複雑化し、将来が不確実性に満ちている現在、将来を考えるとときに何らかの抛り所が必要であり、常に現状を客観的に見るためには専門的知識が求められ、それを供給するのが、大学院の役割であろうと。

確かに、大学院が設立された25年前より、まず、生き方というレベルは誰も敷いてくれず、それぞれがそれぞれの可能性を見極めないとより良い選択肢の幅が広がらない時代になっっています。キャリアを積むうちに持つ疑問や新展開を試みる時、大学院で学ぶ専門的学問はより広い視野に立った選択を可能にするでしょう。次に急速に形を変えていく社会に対応していくスキルも必要になることでしよう。そのために大学院特に職業を持ちながらも学べる大学院の必要性は、今後増していくといえるかもしれません。修了生による座談会の発表内容も、対象となる

人々は社会を映し出す鏡であり、その反映を確認しつつ私たちは社会のあり方を考える、というものでした。反映性を正しく観られるかどうかは、観る人の才知にかかっており、その才知を育むのが高等教育機関の役割だと考えます。

2014年に人間科学研究科博士後期課程死生学分野を修了（博士号取得）し、現在中野区地域支えあい推進室南部すこやか福祉センター所長を務める石濱照子氏は、修了後に業務を進める中で上梓された『現在の自殺』（東信堂、2017年）の中で、大学院での学びについてこう書かれています。

「私が働きながら大学院で学んだ意義は今後にかかっています。研究成果をどう現実にかかすかという点こそが、二足のわらじを履いてきた私の課題です。最近では、政策大学院に通う同僚も増えてきていますので、地方自治体での政策展開も洗練されてくるのではと期待しています」（iiiページ）

まさに大学院が社会にいかに貢献できるか、またより多くの人が学べるような環境を作り上げるべきなのかを端的に示されています。

多くの修了生とともに教職員もさなる研究の充実のために尽力するべき余地は多大であることを感じさせられた記念式典でした。

**大学保育子ども学科  
AO入試開始**  
2020年度入試よりスタート  
柔軟な思考や斬新な創造力を評価

### 文

部科学省により2021年度から大学入学者選抜の見直しが図られることに先立ち、保育子ども学科では2020年度の入試からAO入学試験を導入します。これは、学力の3つの要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、調査書、表現活動、文献の読解力の3つの側面から評価する、これまでにない入試スタイルです。物事に対して探求する力と共に、即興で他者とも協働しながら表現を創作する時間を設け、保育を学ぼうとする主体的な姿勢や柔軟な思考、斬新な創造力を総合的に評価します。



表現活動試験のイメージ

中高部には学内のみならず、学外の活動でも活躍する生徒が多くいます。今回は、ニホンザルの研究において「日本学生科学賞」の東京都最優秀賞を受賞した高等部2年の高橋伶佳さん、東京都中学校スキー大会で優勝した高等部1年の楠本夏花さんの健闘をご紹介します。

### ニホンザルの研究について

高等部2年 高橋伶佳



日本学生科学賞東京都大会 会場にて (2018年10月)

**私** は9歳から理科分野の自由研究を始め、14歳から本格的にニホンザルの研究に取り組み始めました。準備段階としての個体識別は非常に難しく、予定を大幅に超える4ヶ月間かかりました。観察は天候に左右されるため、ひたすら焦る毎日でした。それに加え、膨大なデータ量が必要であり、部活動との両立が課題となりました。そんな私がこれまで研究を続けて

こられたのは、疑問を追い続けて予想を超えた結果が出た時の驚きと、検証を重ねていく過程に強く魅かれたからです。今回、私はニホンザルの子どもについて、誕生から満1歳になるまで観察しました。その結果、飼育下の対象個体は野生の個体より7ヶ月も運動能力の発達が遅れていることを発見しました。今回の結果を用いて飼育の改善策を提案し、飼育員の方にお伝えすることができました。私の研究をきっかけに、皆さんが動物園での飼育の今後の在り方について考えてくだされば嬉しいです。

また私はこの研究で、2018年度の日本学生科学賞の東京都最優秀賞を受賞、読売新聞社から取材を受けるといふ機会を頂きました。しかし、現段階に留まらず、今後も研究を重ねてデータを蓄積し、飼育の与える影響と飼育改善策を更に探っていきたいと思っています。



研究レポート

### スキー大会

高等部1年 楠本夏花



東京都中学校スキー大会 表彰式

**私** は2019年1月に実施された東京都中学校スキー大会で優勝し、2月に開催された全国中学校スキー大会に出場しました。東京大会で優勝した時は、これで全国トップレベルの選手と互角に戦えるという嬉しい気持ちと、東京代表として良い成績を残さなくてはという大きなプレッシャーがこみあげてきました。

そんな優勝の喜びも束の間、大会3週間前の練習中に転倒し、右膝の靭帯を損傷してしまいました。病院に運ばれ、お医者様から大会出場は無理と診断された時は、これで終わったな、という絶望感でいっぱいになりました。一度は出場をあきらめました。しかし、コーチ、友人、両親の励ましにより、右膝の治療をしながら

リハビリを始めました。最初は地面に足をつけることもできませんでしたが、2週間でゲレンデに立つことができるようになり、ぎりぎり大会に間に合いました。全国大会は約170名の選手が参加し、苗場スキー場のワールドカップが開催された斜面を使って行われます。結果は回転24位、大回転21位と、10位以内という目標を達成することはできませんでした。

しかし、リハビリだけが克服できたことは、私にとって大きな自信となりました。高校生になってもこの悔しさをバネにし、頑張りたいと思っています。予選から応援してくださったスキー部の顧問の先生、担任の先生、引率してくださった先生方をはじめ東洋英和の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

全国中学校スキー大会での滑り





# 教会で会いましょう

日本基督教団 横浜明星教会  
網中 彰子 牧師



## 主に在ってEnjoy!

「やっぱり女の子はピンクよねー」幼稚園で聖書の話をする日は、なるべく明るい色を身につけています。「今日のオレンジも似合ってるー」園児たちが気遣い(?)ながら迎えてくれます。年中さんには旧約から、年長さんには新約からお話をします。小さな障がいを持つ子どももおり、絵で表現すると関心をもってくださるとのことで、私が簡単ではありますが絵を描いて紙芝居のようにして神さまの言葉を伝えていきます。

昨年4月より横浜明星教会の主任牧師となりました。付属の二本榎幼稚園は園長先生が先生方と共に元気いっぱい子どもたちを日々祈りの内に大切に育ててくださっています。

園庭で運動会も行い、私は借り物競走で「牧師先生」として借りられる

という重要任務を果たしました。教会は皆が神さまの家族として互いに愛と思いやりをもって歩んでいます。受洗者も与えられ感謝しています。

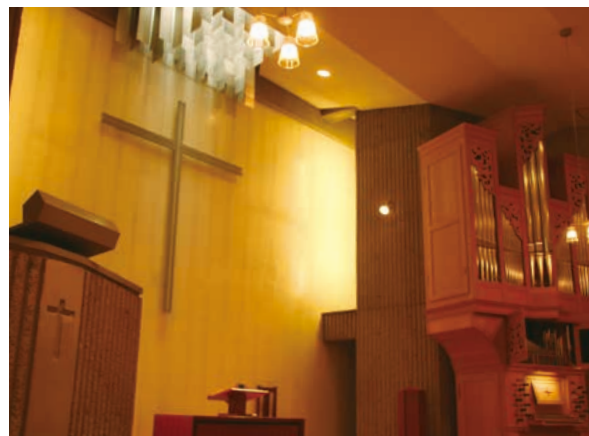
私が大切にしているのは皆が笑顔になることです。日常には困難なことも起きます。それでも福音に生かされる人は喜びを発見するのです。

英和での12年は楽しく自由でした。在学中に気付いていないとしても、神さまが建てた学校として守られているから得られた喜びがあるのです。中学部の時、宣教師の先生が「JOY」とはJesus Others Yourselfの頭文字だとおっしゃいました。キリスト、他者、最後に自分のことを考えると喜びとなると。イエスさまによって自己中心から解放されて、これからも大いにEnjoyしたいと願います。



1968年東京生まれ。小学部から東洋英和で学び、1983年受洗。1987年高等部卒業。立教大学文学部キリスト教学科卒業。TV局制作スタッフ、随行通訳、日本基督教団総幹事秘書を経て、2007年より聖ヶ丘教会伝道師・副牧師、2008年よりベテル教会牧師、2012年より日本キリスト教協議会総幹事。2018年横浜明星教会牧師に就任。

日本基督教団 吉祥寺教会  
吉岡 康子 牧師



## すてきな出会いのために

英和中学部2年のイースターに洗礼を受け、クリスチャンになりました。そして牧師になって約30年、私が今遣わされているのは、教会と学校です。日本基督教団吉祥寺教会の牧師として28年目を迎えています。礼拝を大切に守る教会員の方々と多くの恵みを分かち合いながらここまで来ました。西東京教区教育部の活動にも長く関わらせていただき、また日本基督教団学生青年センターSCF館長として中高生・青年たちとさまざまなプログラム・活動を行ってきました。その中で阪神淡路大震災発生時、ボランティアの可能性をリサーチしてほしいとの要請を受け神戸に行きました。初めての被災地支援では英和時代のYWCAでのボランティア経験が力となりまし

た。その後青山学院女子短期大学・青山学院大学宗教主任としての働きを教会の皆さんの祈りとご理解をいただいで兼務する形で務めさせていただいております。東日本大震災・熊本地震の時には英和の友人たちや教会のネットワークを活かして大学としてボランティアチームを立ち上げ、現在も継続しています。大学の授業では「キリスト教死生学」に力を入れています。今日の私の牧師としての、教師としての働きの「原点」はすべて英和での学びと祈りと友情と、そして「敬神奉仕」の信仰です。学校と教会でたくさんの出会いを結びつけることが私の使命です。主なる神さまがさらに素晴らしいことを用意して下さることを信じつつ前進していきます。



1979年東洋英和女学院高等部卒業。東京神学大学大学院修士課程修了。日本基督教団聖ヶ丘教会、青森松原教会を経て、1992年より吉祥寺教会牧師。2009年より青山学院女子短期大学宗教主任・准教授。2019年より青山学院大学宗教主任・准教授。

東洋英和を巣立ち、現在教会で牧師として活躍している方々をご紹介します。

先生方は、私たちが教会で待ってられます。

英和生だったからこそ、わかってくださることもあるはず。

さあ、教会の扉をたたいてみましょう。

日本基督教団 熊谷教会  
大坪 園子 牧師



幼い日ここに育ち、  
一粒のその種いま

1985年小学部に入學、高等部まで在籍しました。振り返りますと、英和との出会いが今につながっています。入学から毎朝歌った「こどもさんびか」に感動し、讃美が好きになりました（今、ゴスペル歌手としても少しずつ呼んでいただける原点です）。また、小学部3年時、「マザー・テレサ」のお勤さを夏期学校で学び、心打たれ、将来はユニセフで働きたいと願い、法学部に進学。「まっすぐな道！」との印象ですが、自分が嫌いで、勉強をしない、さえない生徒でした。絵と読書と水泳だけは好きで、小学部では美術部で油絵を描いていました。5年生になると、帰国子女の方が同級生にいらして、その発音に憧れて、洋楽が好きになり、結果、ゴスペル音楽を

通して20歳で信仰へと導かれました。英和在学中、同級生は優しく、日曜日に同級生と映画やプールやテニスに行ったりする中、「じゃ、遊びに行く前に教会に出席カード出しに行こうか」と、中2の時に初めて、渋谷の聖ヶ丘教会に行きました。当時の牧師ご夫妻の明るさと朗らかさは、思春期の私の心に刺さりました。後に大学に入学し、「教会に戻りたい」と思われ、聖ヶ丘教会にて洗礼を頂き、後にその教会で、「私は小さい者だけど、神さまが愛してデザインしてくださったのだから、神さまの目的に合うように自分をお捧げしたい」と献身へ導かれました。幼い日に、英和に育ったことを神さまと両親、先生方、同級生に感謝しています。



小学部から高等部2年まで東洋英和で学ぶ。1999年受洗（日本基督教団聖ヶ丘教会）。青山学院大学法学部卒業。東京神学大学卒業、同大学院修了。横須賀学院聖書科非常勤講師、日本基督教団美里教会（沖縄・5年）牧師を経る。2011年高原教会（沖縄）牧師と結婚。2015年4月より、畠さんとラグビーで有名な熊谷（日本基督教団熊谷教会）に夫と共に遣わされ、現在に至る。5歳の息子の母。

日本基督教団 安行教会  
田中 かおる 牧師



「主なる神に仕え、隣人を愛し、  
主なる神を愛し、隣人に仕えなさい」  
（讚美歌 21 149 頁）

標記の言葉は、私が仕えている教会の礼拝で、祝祷の直前に告知する「派遣の言葉」です。この言葉は、別の言葉に言い換えると「敬神奉仕」です。キリスト教保育の現場から神学校に編入学したのが35歳の時。保育の現場で、東洋英和の中高部、短期大学保育科本科・専攻科で合計10年「敬神奉仕」の教育理念の中で育てていただき「神に愛されていることを知って、神を愛し、隣人を愛する」という人生の指針が与えられたことがどんなに大きな恵みだったか、ということが気付かされました。そのことが「福音に生かされる喜びを一人でも多くの人に伝えるために、

小さな器ですがどうぞお用いください」という思いに繋がりと、神学校へと導かれたのでした。神学校在学中に、結婚（夫は信徒）、出産し、卒業時には家族3人となって、安行教会に主任牧師として着任。家族も含めて、教会も教団も温かく迎えてくださり、子育て中であることが牧会に大いに役に立ちました。着任2年目から「礼拝は大人も子ども一緒」という形に整え、家族連れの礼拝出席者が途絶えることなく続き、礼拝出席者も増え、受洗者も生まれました。この礼拝から「敬神奉仕」の思いをもった人々が世へと遣わされていく…それを毎週、目撃できるのは大きな喜びです。



1973年東洋英和女学院高等部卒業、同短期大学保育科卒業、同保育専攻科修了。キリスト教保育園勤務を経て、東京神学大学神学部卒業、同大学院修了。1998年4月より日本基督教団安行教会主任牧師として着任、現在に至る。2007年度から2012年度まで東洋英和女学院小学部非常勤講師、2006年度から2018年度まで同大学非常勤講師。現在聖学院大学、藤女子大学、浦和ルーテル学院にて非常勤講師も務める。

# 教員紹介

— 研究テーマを教えてください。

私の専門はアジア太平洋地域と東南アジアの国際関係で、ここ数年はアジア太平洋地域におけるASEANの外交政策に着目して研究を進めています。具体的には、米中の大國間競争が激しくなる中、ASEANを中心とする多國間地域制度が果たす役割に関心を持っています。

— 授業をする上で目指していることは何ですか？

一つは主観性と客観性です。主観性は主体性とも関連しますが、自身自身で考え、主張を持つことです。ただ、自分の考えを絶対化して他の意見を排除するのではなく、自分の意見も一歩引いて捉えられるよう、客観的に考えることが大切です。例えば、私は現代東南アジア論の授業を担当していますが、学生には実際に東南アジアに赴いて、現地の人々の考えや意見に耳を傾け、文化に触れ、空気を感ずることが大事だと折に触れて伝えていきます。主体的に行動することは、主観的な考えを持つことに繋がります。他方で、経験を通じて得た知識や考えは重要ですが、たとえ同じ経験をしたとしても異なる考えに至る人がいるかもしれません。自分の考えをしっかりと持ちながらも、それが絶対正しいと考えるのではなく、他者の考えを尊重できる

## ▶▶▶ 学生からのメッセージ



国際社会学部  
国際コミュニケーション学科4年  
國武 美伶さん

福田保先生はとても親しみやすい先生です。先生の授業は、具体例や体験談を交えながら説明してくださるのでとても分かりやすく、また裏話なども聞くことができ、学年問わずとても人気です。特に国際関係入門やアジア入門の授業は、DVDを使って世界各国の現状や国際問題を深くまで知ることができます。

## Tamotsu Fukuda

他者の考えを尊重できる広い視野を



大学

国際社会学部  
国際コミュニケーション学科

福田 保 准教授

オーストラリア国立大学大学院アジア太平洋研究科博士課程修了。Ph.D. in Political Science and International Relations. 日本国際問題研究所を経て、2013年4月に着任。専門は国際関係論、アジア太平洋および東南アジアの国際関係、東南アジア諸国の対外政策。日本、アメリカ、オーストラリアで学ぶ。



ダンスで締め括られたジャカルタでの学会

広い視野を持つことも大切です。主観性と客観性のバランスを保つことが大事です。

…なんだか難しそうですね…。

いつもこういう話をしているわけではありません(笑)。講義では、冒頭に学生に考えてもらいたい問題を幾つか提示して、最後には学生自身が答えられるよう、政治・国際関係から文化・社会まで幅広く取り上げています。また東南アジアにもっと関心を持ってもらえるよう、現地のエピソードもたまに紹介しています。— エピソードを一つお願いします。

昨年12月にインドネシア・ジャカルタで開催された学会で報告をしたのですが、日本の学会とは大分雰囲気の違いがありました。日本とは比較にならないほど親睦に力が入っていました。閉会式ではゲストエンターテイナーが大音量で歌って踊って、締めには参加者全員で簡単なダンスを即興で教わって踊っていました。インドネシアの学会ではこれが一般的というわけではありませんが、とても興味深い経験をしました。

— 最後に英和生に一言。

「よく学び、よく遊ぶ」。自分が夢中になれるテーマを熱心に学ぶと同時に、メリハリをつけてオフの時は全力で楽しんで、充実した時間を友人と共有してください。

—前任校から英和にいらして一番おどろいたことを教えてください。

元気な雰囲気のある学校なのだろうなとは思っていましたが、実際は想像以上に子どもたちがパワフルなのでおどろきました。休み時間はタイサンボクによじのぼったりぶらさがったり汗びっしょりになって校庭を駆け回ったりと、活発な子が多いです。ドッジボールの試合などは、これまで見てきた共学の女の子たちとは比べ物にならないくらいスピードでボールを投げ合っていて、見事だといつも思います。

—英和の子どもたちと1年過ごして感じたことは何ですか？

一人ひとり違う個性や力を持った子どもたちではありますが、どの子も根っここのところではみんな「人がいい」と感じます。目の前で転んで泣いている子がいると、違う学年だったとしても「大丈夫?」「どうしたの?」とすぐに駆け寄ってきて、保健室に連れて行ってくれる姿をよく目にします。きっと、大人にほめられたとか先生に教えられたからとかではなく、ただ目の前の人のために行動しているのだらうなと思います。本当に立派です。もう一つ、賢い子が多いという印象です。授業でも打てば響くような反応が返ってきます。

### ▶▶▶ 児童からのメッセージ



小学部 4年  
(左) 元木 麗心さん  
(右) 横山 奈々さん

・いつもニコニコ明るくやさしくて、授業も分かりやすくおもしろいです。ネコ好きで、提出物にはかわいいネコのイラストを書いて返してくれます。(元木 麗心)

・「終わった人は私の方を笑顔でみてください。」問題をとくのがおそい人にも、やさしい気配りをしてくれる笑顔のすてきな先生です。(横山 奈々)



## Kei Tanaka

自分と人との違いを受け入れる力を

小学部

### 田中 慧 教諭

立教大学文学部キリスト教学科卒業後、一般企業を経て、立教大学文学部教育学科に学士入学。小学校の教員免許を取得し、仙台市にある私立小中学校で勤務した後、2018年東洋英和女学院小学部に着任。好きな動物は猫。東京生まれ東京育ち。



いつも提出物に描いている絵です。

—これからの子どもたちに必要な力は何だと考えますか？

自分と人との違いを受け入れる力だと思えます。学校の中では同じ年の子どもが同じ時間に同じプログラムを行い、同じような結果を出す仕組みになっていますが、子どもたちがもともと持っている背景や経験、考え方、能力などは千差万別です。時には分かり合えず不愉快な思いをしたり、自分が当たり前にできるところができない人を馬鹿にしてしまったりします(その逆もあります)。そういうときに、互いに傷つけ合わずに協力できる関係性を作る力がその子個人のためにも世の中のためにも大切だと思います。簡単にいうと、こうでなくてはいけないと思わずに「ま、いいか。」と考えられる大らかさがあるといいのかなと思います。

—お休みの日のリフレッシュ方法を教えてください。

好きなタレントさんのコンサートや舞台を見に行くことが一番のリフレッシュです。最近では、ミュージカル『キンキーブーツ』を見に行きました。ただ、忙しくてそんなにたくさん行くことができないので、ドラマを見たり小説や漫画を読んだりすることもいい気晴らしになります。

東洋英和楓の会主催イベントのお知らせ

## 『パイプオルガン・ソプラノ コンサート』

**日時** 2019年11月23日  
(土・祝) 14時開演  
(13時30分受付開始)

**場所** 中高部  
新マーガレット・  
クレイグ記念講堂

**料金** 無料

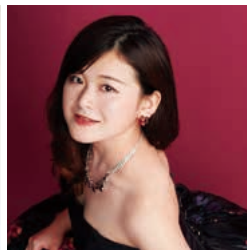


今年の楓の会主催イベントは、本学院高等部卒業生お二人によるコンサートです。前半は日本を代表するオルガニスト今井奈緒子氏のオルガン演奏、後半は新進気鋭の若手ソプラノ歌手横山和美氏の美しい独唱です。中高部合唱部との共演も予定しています。どうぞお楽しみください。

### 出演



©Mariko Kubo



### 今井 奈緒子 (左)

東北学院大学教養学部教授・大学オルガニスト・宗教音楽研究所所長、日本キリスト教団霊南坂教会・西片町教会オルガニスト

### 横山 和美 (右)

第62回日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部全国大会第1位  
第86回日本音楽コンクール第2位、および岩谷賞(聴衆賞)受賞  
東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程オペラ専攻在籍

### 曲目

#### オルガン

- ・J.S. バッハ作曲  
教会カンタータ  
「我ら汝に感謝す、神よ」 BWV29 より  
シンフォニア 二長調
- ・F. メンデルスゾーン作曲  
オルガン・ソナタ変ロ長調 op.65-4 他

#### 声楽

- ・G. ヴェルディ作曲 オペラ《椿姫》より  
「不思議だわ〜花から花へと」
- ・木下敦子作曲「竹とんぼに」 他

\*曲目は変更する場合があります。

### 申込方法

参加いただくにはWeb登録フォームにてお申し込みください(原則4名まで)。10月上旬より東洋英和女学院のホームページにてご案内いたします。  
※お申し込みは、東洋英和楓の会会員に限らせていただきます。

### 申込期間

2019年10月16日(水)～11月13日(水) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

港区と東洋英和女学院の連携事業

## 『東洋英和女学院大学 村岡花子記念講座』



### 第1回

2019年11月16日(土)

「カナダの日系人強制収容所における  
東洋英和宣教師の教育支援活動について」

講演：溝上智恵子氏 筑波大学図書館情報メディア系長、教授

### 第2回

2019年12月7日(土)

「本・子ども・絵本」

講演：中川李枝子氏 作家、『ぐりとぐら』シリーズなど子どもの本の著者

### 第3回

2019年12月14日(土)

「建築家 W.M. ヴォーリスと東洋英和女学院」

講演：芹野与幸氏 ㈱一粒社ヴォーリス建築事務所顧問、  
(公財) 近江兄弟社嘱託研究員

### 第4回

2020年2月22日(土)

「日本の近代を全力で駆け抜けた颯爽たる女性 広岡浅子」

講演：小川琢磨氏 大同生命保険㈱執行役員

### 時間

14時～16時

第2回のみ同窓会クリスマス礼拝終了後  
14時30分～15時40分

### 場所

本部・大学院棟 201 教室 (六本木校地)

第2回のみ中高部新マーガレット・クレイグ記念講堂

### 定員

各回200名

### 料金

無料

### 申込方法

メール・FAX・往復ハガキにて事前申込制、先着順

※12月7日の講座については、同窓会クリスマス礼拝に  
参加する同窓生の申し込みは不要です。

### 申込期限

原則として各回開催日2週間前

### 共催

港区麻布地区総合支所

2019年度の「村岡花子記念講座」は、本学院創立135周年・大学開学30周年行事として開催いたします。詳細は生涯学習センターHPにてご確認ください。

●お問い合わせ：東洋英和女学院大学 生涯学習センター

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町32 Tel：045-922-9707 Fax：045-922-9701 E-Mail：shougaictr@toyoeiwa.ac.jp

# 英和生のお店、ご紹介します！

## 大人の女性のためのセレクトショップ

### 『Seven・Sisters』

牧野 真麗(旧姓細谷 1999年高等部卒) / 石向 珠麗(旧姓細谷 2002年高等部卒)



品川プリンスホテル店

**住所**  
新横浜プリンスホテル内、  
東急プラザ赤坂内等、長崎、  
広島など含め全国で  
11店舗を展開

**URL**  
<http://www.sevensisters-jp.com/>



Check!

女性の「elegance」をテーマにヨーロッパ各地でオーダーした「casual」から「formal」まで、豊富な品揃えでお待ちしております。

## フランスの美しさをお伝えするお店

### 『アン＝シャーロット・グタル・パリ』

石井 悦子 (1973年高等部卒)



**住所**  
品川区上大崎 4-5-8 1階  
目黒駅西口徒歩 3分  
ドレメ通りカトリック目黒教会前

**TEL**  
090-7809-4695



Check!

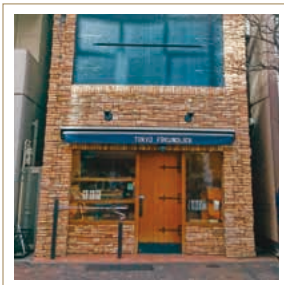
フランスのブランド、グタルの可愛い小物とアクセサリ、インド・カシミールから取り寄せたバシュミナとシルクを置いています。パリの生活を紹介するサロンも定期的に開いています。

※不定休のためお電話にてご確認ください。

## 昔ながらの変わらぬ味を皆様に

### 『東京フロイドリーブ』

田巻 貴子 (旧姓福井 1989年短期大学保育科卒)



**住所**  
渋谷区広尾 5-1-23

**TEL**  
03-3473-2563

**URL**  
<http://freundlieb.web.fc2.com/>



Check!

1970年創業のドイツパンと洋菓子の店です。昔ながらの製法を守り、原材料にも拘り、全ての製品を手作りしています。食事用の白パン、ライ麦や全粒粉のパン、御贈答用のクッキーなど素朴な味わいの品々です。

## インポートセレクトショップ

### 『Carré キャレ』

入江 千里 (旧姓杉田 1979年高等部卒)



**住所**  
品川区平塚 2-18-4  
戸越 TYビル 1F

**TEL**  
03-6426-7977

**URL**  
<https://carre61.wixsite.com/carre>



Check!

戸越銀座商店街の中にあるレディースショップ。ヨーロッパ中心の靴、バッグ、ウェアをトータルにセレクトしています。外反母趾の方も快適に履いていただけるシューズ『ARCOPELICO』の日本正規代理店。

## 赤坂に本格焼き鳥

### 『こくりこ』

内藤 清美 (1969年高等部卒)



**住所**  
港区赤坂 2-19-4

**TEL**  
03-3582-1184

**URL**  
<http://www.coquelicot-japan.com/>



Check!

落ちついた和の佇まいの中、契約養鶏場から毎日届く新鮮な鶏を備長炭で丁寧に焼き上げています。本物でありながら使い勝手のよい店をめざし、お客様に喜んでいただけるよう、日々努力しています。

## 美術商 鑑賞古美術

### 『繭山龍泉堂』

繭山 綾子 (1987年高等部卒)



**住所**  
中央区京橋 2-5-9

**TEL**  
03-3561-5146

**URL**  
<http://www.mayuyama.jp/>



Check!

変化の著しい現代でも古美術品の放つ魅力は色あせることなく、私たちの美意識に語りかけつづけます。自然光のとどく店内では、表情豊かな古陶磁の佳品をゆっくりご覧いただけます。



## 「目録」から知る花子さん ―村岡花子文庫和書目録刊行―

史料室委員会では、今年の3月に「村岡花子文庫 和書目録」を刊行いたしました。図書の目録：と聞くと、いかにも無味乾燥な感じですが、この目録は、東洋英和に寄贈された村岡花子さんの蔵書(和書)を網羅しており、実はとても面白い内容になっています。

この目録が完成するまでをご紹介しますと、花子さんの蔵書は2014年度に学院に運び込まれ、その数は和書がおおよそ1200冊、洋書が800冊におよびました。ランダムに寄贈された蔵書でしたが、元中高校教諭の水谷悟先生と高等部卒業生ボランティアのみなさんによって、刊行年代順に並べ替えられ、その後は元大学図書館事務長の梶田マリさんによって一冊ずつ丁寧に書誌情報が採録され、刊行にいたしました。

まず目録の「書名」の項を見ると、蔵書の豊かさに驚かされます。そし

て、献辞などから花子さんの交友関係の広さがわかります。さらにご自身による本への書き込みには、時として家族への思いや感謝があふれています。本に挟み込まれた品々の記載からもお人柄がしのべれます。目録は学院各部の図書室・図書館展示コーナーにご覧いただけます。是非一度手に取ってご覧ください。



村岡花子の本棚。これらの蔵書が東洋英和に寄贈され、目録になりました。



- 史料室 Tel : 03-3583-3166 / Fax : 03-3583-3329 <http://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>
- 「史料室だより」No.92 は村岡花子と短歌の特集第2弾です。右のURLからご覧いただけます。<http://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>

### 同窓会より

## 同窓会 新入会員を迎えて

昨年度も、3月の卒業式に際し各々の同窓会の入会式を執り行い、東光会(高等部同窓会)・楓美会(大学同窓会)・大学院同窓会合わせて約800名の新入会員をお迎えしました。同窓会会員は同時に「楓の会」の会員となりますので、「楓園」が送付され、また講演会等の行事への参加を

通し楓の会会員の皆さまとの交流・活動に参加することができます。フレッシュなメンバーをお迎えし6会各々の同窓会が「敬神奉仕」のもと、同窓会だけの活動に留まることなく、英和に連なる各方面の皆さまと一緒に歩みを進めて参りたいと思います。



高等部卒業礼拝後に行われた入会式(2019年3月15日)

### 後援会より

## 2019年度後援会総会のご案内



2018年度総会(懇親会)

後援会では、2019年度後援会総会を7月5日(金)に例年通りANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催いたします。総会では後援会役員会のご報告と、理事長・院長を始め学院各部から先生をお招きし各学部の報告および懇親会も予定しております。会員の皆様におかれましてはご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 【2019年度後援会総会】

- 日時 2019年7月5日(金) 18:00~20:45(予定)  
場所 ANAインターコンチネンタルホテル東京  
(港区赤坂1-12-33 TEL03-3505-1111)
- スケジュール・会場
- I. 総会  
18:00~18:40 地下1階 プロミネンスIII
  - II. 学院各部説明会「学院各部の教育の現状について」  
18:40~19:10 地下1階 プロミネンスIII
  - III. 懇親会(立食パーティー形式)  
19:20~20:45 地下1階 プロミネンスI